

北海道の死亡野鳥から高病原性 鳥インフルエンザウイルスが検出されました！ ～予防対策に不備がないか早急の確認して下さい～

- 今シーズンも過去最大規模の発生(26県, 84事例, 1,711万羽殺処分)となった昨シーズンと同時期に野鳥からウイルスが検出されました。
- すでにウイルスに感染した渡り鳥が国内に飛来しています。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (R5年シーズン)

今シーズン初の
検出事例です！

10月4日

・北海道美唄市でハシブトカラス1羽の死亡個体を回収

10月11日

・高病原性鳥インフルエンザウイルス検出



- ①衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ②家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308（夜間・休日も転送機能で連絡可能）